



ふるさとCM大賞で入賞

12/2 ふるさとCM大賞 NAGANO

第12回ふるさとCM大賞 NAGANO（長野朝日放送主催）の最終審査会が12月2日、長野市若里市民文化ホールで行われました。県内市町村から応募のあった91作品の中から25作品が最終審査会に進みました。安曇野市からは、あづみ野ビデオクラブが制作した「あづみ野教室 “ワサビを味わう”」が審査員特別賞の編集賞に見事入賞しました。このCMは、来年同局のCMとして1年間で30回放映されます。また、最終審査会の模様は1月5日（土）午後4時から同局で放送されます。



コミュニティーFM放送局が開局

11/24 あづみ野エフエム放送開局

市内を主な放送エリアとするコミュニティーFM局、あづみ野エフエム放送（花村薫社長）が11月24日、開局しました。12月3日、「おひさまサークル」の放送終了後、担当パーソナリティーの石垣絵美さんは「地域の皆さんとの距離がとても近いと感じています。交流を深めながら番組を作っていくたいです」と話してくれました。同局では生放送による自主製作番組、防災情報や、外部からの番組配信を受け24時間放送を行います。周波数は76.1MHz。地域の情報なども随時受け付けています。

伝統の大会 90人が力走

11/4 第8回安曇野市堀金一周駅伝大会

第8回安曇野市堀金一周駅伝大会（堀金公民館主催）が11月4日に開かれました。この駅伝は、旧堀金村時代から通算すると48回となる伝統の大会で、小学生から40代まで90人のランナーが練習の成果を発揮し力走しました。コースは堀金総合支所をスタートし、地域内9つの地区公民館等を回る10区間17.3^{キロ}。スタートの号砲とともに第一走者が勢いよく駆けだすと、大きな声援が送られました。優勝は岩原地区公民館チーム。2年続けて出場したアンカーの横川夢奈さん（堀金中2）は、「ゴールのときはすごく緊張しました。1位が取れてすごくうれしいです」と話しました。



牧大根、大人気！ 3万本が完売

11/18 第3回牧大根まつり

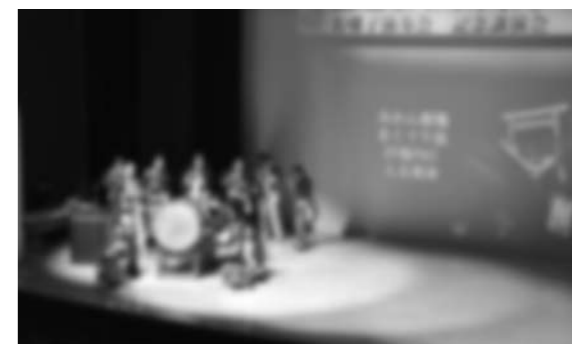
第3回牧大根まつりが11月18日、牧公民館とJAあづみ北部低温倉庫、ピフ穂高の3会場で行われました。牧大根は県の「信州の伝統野菜」に認定されており、牧地区の粘土質な土壌が、きめが細かく固く漬物に適した大根を育てるそうです。この日は新聞で見たり、人づてに聞いたりして初めて買いに来たという人も多く訪れ、販売開始から1時間ほどで約3万本が完売しました。間に合わない分は、お客さんを畑に連れて行き、収穫の様子も見られました。家族で訪れた三間慎一郎さん（明科中川手）は、「毎年、おばあちゃんが牧大根を漬けていますが、今年は一緒に漬けたいと思っています。古漬けになってもおいしく、子どもたちも大好きです」と話してくれました。



歌い継がれて来年で100年

11/23 早春賦誕生100年記念プレシンポジウム

早春賦誕生100年を来年に控え、プレシンポジウム「心ひとつに、みんなで100年を迎えよう！」（記念事業実行委員会・早春賦愛唱会主催）が11月23日、礪山公園研成ホールで開かれました。当日は安曇野に寄せる心の詩作詞コンテストの入賞作品の発表も行われました。全国から約700点の応募があった中から、最高位の吉丸一昌賞には米倉穂奈美さん（堀金中3年）の作品「おいでよ安曇野」が選ばれました。米倉さんは自身の作品について「自分が渡り鳥や伝書鳩になって、安曇野の春を全国の皆さんに伝えに行くようなイメージで作詞しました」と話していました。



晩秋に響くお囃子の音色

11/10 安曇野のお祭り展 お囃子演奏会

安曇野のお祭り展（同実行委員会主催）のお囃子演奏会が11月10日、穂高交流学習センター「みらい」で開かれました。演奏会には、市内から3つの祭り保存会が参加。ステージ上のスクリーンにそれぞれの祭りの様子が映し出される中、約100人が各地域に伝わる伝統の音色に耳を傾けました。5月が祭典の潮神明宮祭典保存会（明科・潮区）の関良男さんは「来年の春は、ぜひ潮のお祭りにも来てください」と呼び掛けました。また、オフネ研究の第一人者である三田村佳子さん（民俗学研究者）による「オフネ祭りの展開」と題した記念講演も行われました。